

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	学びたいときに学べる学習機会の充実	施策コード	51101	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習機会の充実			関係課	図書館
	(3) 節の目的	誰でも、いつでも、どこでも学べるように、学習の場と機会の充実をすすめます。また、学習で得た知識を社会にいかすためのしくみを充実し、まちづくり活動として発展していくように支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が学びたいときに学ぶことのできるよう、図書館や鳥の博物館、白樺文学館、視聴覚ライブラリーなどの学習事業や公民館の学級・講座・生涯学習出前講座の拡充などにより、学習機会の充実に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		学習サービスが充実し、学びたいときに学ぶことができる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	ニーズを踏まえた学習機会を充実させるとともにより多くの市民に学んでもらえるよう、様々な主体と連携しながら学習情報の効果的な発信に努めていく必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 生涯学習出前講座の受講者数	約250のメニューがある生涯学習出前講座の受講生が増えることで、学習機会の充実度が判断できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	3,700	3,800	3,900	4,200
		実績値		3,891	3,058	3,355	3,199
		達成率		105.16	80.47	86.03	76.17
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	112,713	111,515	108,552	107,735
		人件費	60,280	66,968	63,360	66,264
		合 計	172,993	178,483	171,912	173,999
	(10) 実績値 (千円)	事業費	112,713	111,515	108,552	106,170
		人件費	60,280	66,968	63,360	66,264
合 計		172,993	178,483	171,912	172,434	

施策を構成する事務事業

事務事業名	視聴覚機材等の貸出				課名	生涯学習課		
指標	視聴覚機材等利用件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	273	目標値	260	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	269	達成率	103.46			予算額	350	704
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	280	704

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

機材が古くなってきているため、定期的なメンテナンスが必要となる。

事務事業名	出前講座の運営				課名	生涯学習課		
指標	出前講座メニュー利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3,891	目標値	4,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,199	達成率	79.98			予算額	1,544	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,507	1,760

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

生涯学習推進のため、市の様々な事業を市民に理解してもらうとともに、市民同士の親睦を深めることにつながるため必要不可欠である。

事務事業名	保育スタッフによる一時保育事業				課名	生涯学習課		
指標	保育利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	188	目標値	235	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	210	達成率	89.36			予算額	679	3,080
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	648	3,080

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

一般利用者及び公民館学級の参加者にとって、必要な事業である。

事務事業名	アビコでなんでも学び隊				課名	生涯学習課		
指標	満足度				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	99	目標値	96	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	106	達成率	110.42			予算額	2,851	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,841	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

応募率が243%あり、子ども達の興味関心の高さがうかがえ、参加者の満足度も高く、貢献度は高いと考える。

事務事業名	カウンターサービス(貸出・返却・予約・案内・調べもの・配架等)				課名	図書館		
指標	市民1人あたりの貸出冊数(全館分)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	7.4	目標値	8.2	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	7.4	達成率	90.24			予算額	60,474	34,144
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	59,412	34,144

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館もあり、限られた資料費の中で、貸出冊数は伸び悩んでいるが、市民が学びたい時に学べる機会を保障するため、カウンターサービスは重要である。

事務事業名	ハンディキャップサービス(図書館利用に障害がある方へのサービス)				課名	図書館		
指標	宅配、郵送、対面朗読各サービス年間利用件数(合計)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1,195	目標値	1,285	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1,195	達成率	93.00			予算額	874	2,728
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	827	2,728

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

ハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するために、実施および推進する必要のある事業である。

事務事業名	施設・団体への貸出サービス				課名	図書館		
指標	年間団体貸出冊数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	31,350	目標値	32,270	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	31,350	達成率	97.15			予算額	1,268	2,464
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,251	2,464

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民の学習機会を充実させるために、本事業は必要である。

事務事業名	移動図書館業務(委託)				課名	図書館		
指標	移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数合計				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	21,601	目標値	20,400	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	21,601	達成率	105.89			予算額	10,642	2,112
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,633	2,112

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

移動図書館が定期的に巡回することで市内3地区の図書館から離れた地域に居住する来館困難な市民にも学びたい時に学べる学習機会を保障するため重要であり、今後も継続すべき事業である。平成30年度我孫子第三小学校、31年度並木小学校へ巡回を開始。

施策を構成する事務事業

事務事業名 読書普及活動（講師派遣・出前講座）					課名	図書館	
指標	出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞か				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1,202	目標値	1,080	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1,202	達成率	111.30			予算額	142
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）							
多くの乳幼児と保護者が集まる場所や学校、市民団体等へ出向き、図書館案内や絵本の読み聞かせ等を行うことで、より多くの市民が読書への関心を持ち、図書館を利用するきっかけとなるため、重要な事業である。							
事務事業名 成人・青少年へのサービス					課名	図書館	
指標	年間貸出利用者数（12歳以下・団体利用は除く）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	240	目標値	267	単位	千人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	240	達成率	89.89			予算額	23,357
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）							
市民の学習機会の充実を図るためには本事業は必要不可欠であり、今後も市民のニーズに合わせたサービスを検討し、実施していく。本事業の利用対象者は図書館全体の92%であり、優先度は高いと考え、今後も継続すべき事業である。							
事務事業名 郷土行政資料サービス					課名	図書館	
指標	郷土行政資料（我孫子資料・千葉県資料）の年間貸出冊数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	2,967	目標値	3,990	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	2,967	達成率	74.36			予算額	961
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）							
市民が我孫子市をより深く知り愛着を持って暮らしていくことは定住化に結び付く要因の一つである。図書館では郷土に関する資料を揃え、市民の学習意欲に応える必要がある。							
事務事業名 児童へのサービス					課名	図書館	
指標	児童書の貸出冊数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	204,093	目標値	223,480	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	204,093	達成率	91.32			予算額	4,593
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）							
子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を見につけていく上で、読書活動は欠くことのできないものであるため、専門職を中心に、よい本を選び提供していくことが必要である。							

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民一人ひとりが充実した人生を過ごすためにも、また、学んだ成果を人づくりやまちづくりに活かしてもらいたためにも、ニーズを捉え、生涯学習センターをはじめとした様々な学習施設を活用しながら、市民が学びたい時に学べる環境を整えていくことが大切である。	学びたい時に学べるように学習環境を整えることで、市民生活の向上やまちづくり活動の活発化などにつながっていくことが期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
31年度も公民館や図書館、鳥の博物館、杉村楚人冠記念館、白樺文学館などの施設において、市民団体や事業者、大学、研究機関などと連携し様々な講座や教室、イベントを実施し学びたい時に学べる学習機会の充実を図った。 様々な主体と連携をとりながら引き続き学びたい時に学べる機会を充実させ、市民の学習につながるよう努めていく。	今後も引き続き、市民ニーズや時代の変化を踏まえながら、また、民間事業者との役割分担を考慮しながら様々な学習機会を充実させるよう努めていく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援	施策コード	51102	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習機会の充実			関係課	図書館 企画課
	(3) 節の目的	誰でも、いつでも、どこでも学べるように、学習の場と機会の充実をすすめます。また、学習で得た知識を社会にかすためのしゅみを充実し、まちづくり活動として発展していくように支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテーマとした学習事業を実施します。また、まちづくりを担う人材が育つよう、市民の自主的な学習活動を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	地域のまちづくりを担う人材			
どういう状態に		多数育成されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	時代の変化や地域の課題に対応した学習事業の成果を確認し、学習事業に反映していく必要がある。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	①	生涯学習課・図書館・鳥の博物館の共催・後援数	市民や団体が行う学習活動やまちづくり活動との共催や後援は、人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援であるため。				
		市民一人あたりの図書等の貸出冊数	図書等の貸出冊数を把握することで、市民の自主的な学習活動の活発度が判断できるため。				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	①	目標値	件	5	4	4	5
		実績値		4	4	3	4
		達成率		80.00	100.00	75.00	80.00
	②	目標値	冊	9.2	8.6	8.6	8.6
		実績値		8.6	8.2	7.8	7.4
		達成率		93.48	95.35	90.70	86.05
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	22,688	23,472	23,567	19,489
		人件費	26,928	31,768	33,528	31,064
		合計	49,616	55,240	57,095	50,553
	(10) 実績値 (千円)	事業費	22,688	23,472	23,567	18,753
		人件費	26,928	31,768	33,528	31,064
合計		49,616	55,240	57,095	49,817	

施策を構成する事務事業

事務事業名	平和事業の実施				課名	企画課		
指標	派遣中学生発表会の来場者数の増加率（2018年度の来場者数／2019年				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	142	達成率	142.00			予算額	2,472	3,960
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,037	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も若い世代に平和の思いを受け継ぐことに主眼を置きながら、市民と協同で平和事業を実施する必要がある。

事務事業名	成人式				課名	生涯学習課		
指標	成人式への出席率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	72	目標値	70	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	72	達成率	102.86			予算額	3,366	7,040
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,254	7,040

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状通り推進したい。

事務事業名	のびのび親子学級				課名	生涯学習課		
指標	受講者満足度				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	99	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	104	達成率	122.35			予算額	2,741	3,520
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,685	3,520

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

子育て支援事業が充実し、当学級と並行して参加している受講者が89%いた。また、幼稚園のプレ保育は何か所も申し込みが可能であるなど、受け皿も増えている。こうした、子育て環境の変化を受け、働いている方が育児休暇を取って参加しやすい時期で

事務事業名	公民館連絡協議会事務				課名	生涯学習課		
指標	千葉県公民館研究大会の参加者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	324	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	92	880
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	59	880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

東葛飾地区の近隣市と連携しながら、最新の動向に関する情報を得ることができ当市の公民館事業の充実化を図ることができた。

事務事業名	家庭教育学級				課名	生涯学習課		
指標	受講者満足度(家庭教育の大切さを感じ、実践した受講生の割合)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	95	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	95	達成率	126.67			予算額	1,570	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,520	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

受講者が学習内容を家庭や地域で実践することにより、人づくり、まちづくりという施策の実現に貢献している。年間の学習活動を通じて参加者同士の交流を図り、自主的な活動へ繋がるよう、学級運営の工夫に努めながら、推進していく。

事務事業名	熟年備学				課名	生涯学習課		
指標	学習内容に関心を持った学級生の割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	84	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	84	達成率	98.82			予算額	797	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	757	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今までのまちづくりにつながる講座内容に加え、健康寿命の延伸をテーマに加えるなどの工夫をした。今後も、学習の成果が健康寿命の延伸をし、さらには地域活動やまちづくりにつながるように、講座内容を工夫しながら進める。

事務事業名	長寿大学				課名	生涯学習課		
指標	地域活動への意識割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	75	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	75	達成率	100.00			予算額	7,573	6,160
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,574	6,160

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進する

事務事業名	図書館会議室及び展示スペースの提供				課名	図書館		
指標	布佐分館会議室の利用回数（年間）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	110	目標値	135	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	110	達成率	81.48			予算額	169	1,232
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	167	1,232

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の自主的な学習機会の発表の場を提供するために今後も継続すべき事業である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	図書館PR				課名	図書館		
指標	ホームページの年間アクセス数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1,374	目標値	1,444	単位	千件	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	1,374	達成率	95.15			予算額	371	5,720
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	366	5,720

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

図書館ホームページを利用したインターネットサービスは、利用者の利便性の向上及び図書館業務の簡素化に寄与しており、今後も利用促進を図りながら継続すべき事業である。

事務事業名	実習生受入れ・施設見学(一般・児童・生徒)				課名	図書館		
指標	アビスタ探検隊参加者・図書館見学等参加者・実習生受入人数の合計				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	987	目標値	1,110	単位	人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	987	達成率	88.92			予算額	338	792
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	334	792

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

体験学習や施設見学を行うことにより、将来の進路や職業選択の参考となるよう市民を支援していくことは、公共施設の重要な任務である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民との協働によるまちづくりの推進が求められている中、社会や地域の課題に関する学習事業を実施するなど、学んだ成果を地域や社会に還元できる人材を育成し、まちづくりにつながるように努める必要がある。そのためにも、社会教育主事資格を持つ職員を中心とした支援体制の強化を図っていく。	市民が、社会的関心の高いテーマや地域の課題を学習し、学んだ成果を社会や地域に還元できる人材を発掘・育成していくことで、市民との協働によるまちづくりの進展が期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
長寿大学などを通じて社会や地域に自分の力を還元できる人材の育成・発掘、つなぎを行うことができた。人づくり・まちづくりは着実な取組が必要であり、引き続き様々な主体と連携をしながら効率的効果的に学習活動の支援を行っていく必要がある。	まちづくりの主役である市民同士が地域でつながり、活躍できるよう学習活動の支援を引き続き行っていく。
改善検討	
<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	学習施設の整備・充実	施策コード	51103	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習機会の充実			関係課	図書館 鳥の博物館	
	(3) 節の目的	誰でも、いつでも、どこでも学べるように、学習の場と機会の充実をすすめます。また、学習で得た知識を社会にかすためのしゅみを充実し、まちづくり活動として発展していくように支援します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	学習する場の充実を図るため、公民館や図書館、鳥の博物館、白樺文学館などの施設の充実や、学習の拠点施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で学習ができるようにします。また、湖北地区図書館の整備については、湖北台地区に立地し、老朽化への対応が急がれるその他の公共施設と合わせて、引き続き検討していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	学習施設				
		どういう状態に	計画的な整備・充実が図られ、有効活用されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	限られた財源の中で対応していかなければならないため、改修や修繕の手法を検討するなど工夫をしていく必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① アピスタ（公民館・図書館）の年間利用者数	アピスタは市の生涯学習の核となる施設であり、これにより市の施設の魅力度が判断ができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	630,000	584,000	584,000	584,000
		実績値		583,025	564,129	586,505	569,673
		達成率		92.54	96.60	100.43	97.55
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	307,417	174,204	163,624	176,345	
		人件費	58,696	61,160	53,504	54,912	
		合 計	366,113	235,364	217,128	231,257	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	307,417	174,204	163,624	174,035	
		人件費	58,696	61,160	53,504	54,912	
合 計		366,113	235,364	217,128	228,947		

施策を構成する事務事業

事務事業名	常設展の充実				課名	鳥の博物館		
指標	来館者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	32,580	目標値	37,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	32,580	達成率	88.05			予算額	2,703	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,544	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

鳥や手賀沼に対し関心を高め、手賀沼周辺の自然環境を理解していくことが必要である。

事務事業名	企画展の実施				課名	鳥の博物館		
指標	来館者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	32,580	目標値	37,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	32,580	達成率	88.05			予算額	2,470	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,363	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子の自然や鳥の魅力を発信していくためにも必要な事業である。

事務事業名	博物館施設設備の維持管理				課名	鳥の博物館		
指標	入館者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	32,580	目標値	37,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	32,580	達成率	88.05			予算額	346	2,024
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	291	2,024

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市の施設として、来館者が安全、快適に利用いただくためにも、老朽化した施設を修繕することが必要である。施設の老朽化により突発的な修繕が必要となってきた。

事務事業名	友の会・市民スタッフの活動支援				課名	鳥の博物館		
指標	友の会・市民スタッフの登録人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	321	目標値	390	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	321	達成率	82.31			予算額	999	1,320
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	956	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

博物館の事業をサポートし、利用を促進する事業としての優先度が高い。

事務事業名	常設展示リニューアル				課名	鳥の博物館		
指標	文献等資料数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	86	目標値	90	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	86	達成率	95.56			予算額	0	528
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	528

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

将来的なりリニューアルに向けた準備は引き続き重要である。

事務事業名	地域交流教室の管理・運営				課名	生涯学習課		
指標	地域交流教室の利用率（総使用コマ数／使用可能コマ数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	16	目標値	50	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	17	達成率	34.00			予算額	181	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	170	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地域の方の生涯学習活動の一助になっている。

事務事業名	施設管理事務				課名	生涯学習課		
指標	予定保守管理執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	87,237	9,240
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	86,269	9,240

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も安全面に問題が出るもの等、必要不可欠な施設整備については問題が発生次第施設整備を行いたい。

事務事業名	湖北地区公民館の運営				課名	生涯学習課		
指標	1年間の延べ利用者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	162,267	目標値	156,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	161,478	達成率	103.51			予算額	50,360	2,200
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	50,189	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市の東側をカバーする生涯教育施設として、市民の学習機会を確保する役割を果たしている。

施策を構成する事務事業

事務事業名 図書館の情報化推進					課名 図書館		
指標	インターネット及び館内検索コンピュータからの予約（リクエスト）				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	97	目標値	99	単位	千件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	97	達成率	97.98				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
					実績値	570	6,248

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

図書館電算システムの整備は、資料管理及び市民の学習機会の提供のために必要な事業である。

事務事業名 図書館施設・設備維持管理					課名 図書館		
指標	施設の安全性達成率（修繕実施箇所／安全確保のための必要修繕箇所）				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
					実績値	10,619	4,752

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後とも、施設の環境整備に努め、安全で快適な読書環境を市民に提供していく必要がある。

事務事業名 図書館資料管理					課名 図書館		
指標	所蔵資料数（図書・雑誌・AV資料）に対する最終不明資料の割合				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	0.2	目標値	0.07	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0.2	達成率	35.00				
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	20,860	22,264

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民が必要とする資料を迅速・的確に提供するために、図書館資料の適正な管理を継続して行うことが重要である。令和元年7月から、図書館資料を延滞した場合、7日を経過した日から貸出停止している。

事務事業名 図書館の整備					課名 図書館		
指標	作成完了				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
					実績値	0	1,056

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後の我孫子市の図書館運営・サービスの方向性を示す方針となるため、引き続き検討し、推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民が学びたいときに学べる学習機会の充実や、市民の自主的な学習活動を支援していくうえで、身近な場所における様々な学習施設の整備・充実は欠かせない。整備の必要性、重要性、緊急性を踏まえて優先順位を踏まえて優先順位を考え、限りある予算の中で工夫をしながら市民の学習できる場を整えていくことは必要である。	学習施設の整備・充実を図ることで、市民の学習活動が活発になることが期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
施設の老朽化に伴い、計画的に施設の補修・修繕を行うとともに、効率的効果的な施設運営に向けて工夫に努める。引き続き、市民ニーズを踏まえた整備を行い、快適に学習できるような環境を整えていく。	どの社会教育施設も経年劣化に伴い、更新時期を迎えている設備等を抱えており、現在の施設の計画的に保守に努め、学習環境の維持を図る必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	市民の学習活動を支える体制の整備	施策コード	51201	施策主管部課	生涯学習部 生涯学習課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生涯学習体制の整備			関係課	図書館 鳥の博物館	
	(3) 節の目的	さまざまな学習活動団体や関係機関が相互に連携するしくみをつくり、情報の提供や、活動を支える体制を充実します。また、地域の人材を生涯学習にいかすしくみや、生涯学習を支える人が育つ環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の学習活動を活発にするため、市が行う生涯学習関連事業の体系化や事業内容の充実、情報の共有化などを進めて、生涯学習振興に関する行政施策を総合的に推進します。また、学習に関する情報提供、相談体制の充実を図るとともに、他の自治体や市民団体、大学、研究機関、企業などとの連携を強化するなど、市民の学習活動を支援する体制を整備します。さらに、専門的な技術・経験・知識を持つ市民を講師として学習活動にいかしていきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
		どういう状態に	学習活動を支援する体制が整備されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	学んだ成果を人づくりやまちづくりに活かしてもらうためには、学習情報のみならず市民の様々な活動情報を効果的に提供し、連携できるような環境づくりに努める必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 「生涯学習の機会充実や推進体制の整備」施策に	市民アンケートにおける施策の満足度で、施策目標の達成度が判断できるため。					
	② 大学図書館との図書の利用件数	大学図書館との連携強化は、市民の学習活動を支援する体制の強化につながるため。					
	③ 市民講師による生涯学習出前講座のメニュー数	生涯学習出前講座のメニュー数で、市民の学習活動を支援する体制の充実度が判断できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	55	56	57	58
		実績値		55	56	58	57
		達成率		100.00	100.00	101.75	98.28
	②	目標値	件	20	22	22	29
		実績値		22	29	21	17
達成率		110.00		131.82	95.45	58.62	
③	目標値	件	137	138	139	140	
	実績値		138	138	145	136	
	達成率		100.73	100.00	104.32	97.14	
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	10,672	9,984	11,153	8,455	
		人件費	33,704	27,104	33,352	24,904	
		合 計	44,376	37,088	44,505	33,359	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	10,672	9,984	11,153	7,898	
		人件費	33,704	27,104	33,352	24,904	
		合 計	44,376	37,088	44,505	32,802	

施策を構成する事務事業

事務事業名	鳥類生息状況調査				課名	鳥の博物館		
指標	調査回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	14	目標値	24	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	14	達成率	58.33			予算額	608	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	584	1,760

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

博物館の設立趣意である手賀沼の環境保全に係る調査のため、優先度が高い。

事務事業名	鳥類標本・資料の収集				課名	鳥の博物館		
指標	製作標本数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2,813	目標値	2,900	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2,813	達成率	97.00			予算額	1,937	1,320
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,872	1,320

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

博物館のすべての活動の基本となる資料収集事業であり、優先度が高い。

事務事業名	図書・映像資料の整理とデータ作成				課名	鳥の博物館		
指標	書籍蔵書数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	4,506	目標値	4,050	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4,506	達成率	111.26			予算額	1,199	880
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,199	880

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

図書等の資料収集は博物館活動の基盤の一つであり、優先度が高い。

事務事業名	生涯学習普及啓発事業				課名	生涯学習課		
指標	生涯学習ニュース発行回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2	目標値	2	単位	回数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	100.00			予算額	1,517	8,536
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,280	8,536

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

実施する講座はどれも人気の高いものが多く、生涯学習ニュース等で情報提供することにより生涯学習の入り口としての機能を担っている。

事務事業名	生涯学習に関する情報提供と相談対応				課名	生涯学習課		
指標	人材情報、団体・グループ情報(ホームページ)へのアクセス数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2,976	目標値	3,300	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,564	達成率	108.00			予算額	512	3,520
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	512	3,520

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民が自由に学ぶことができる環境を確保することは、生涯学習の理念に照らし合わせても重要な施策である。

事務事業名	生涯学習推進計画の進行管理				課名	生涯学習課		
指標	実施計画に位置づけられた事業の進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	778	6,160
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	577	6,160

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

事業の優先度は高い。

事務事業名	市外図書館・大学・関係機関との連携協力				課名	図書館		
指標	年間相互貸借冊数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	7,263	目標値	8,550	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	7,263	達成率	84.95			予算額	1,854	2,376
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,824	2,376

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

多種多様な資料・情報に対する市民の要望は多く、その幅広いニーズに応えながら、資料費を効率的に運用するためには、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は必要不可欠である。

事務事業名	子どもの読書活動推進計画の進行管理				課名	図書館		
指標	学校図書館との連携による授業支援				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	73	目標値	30	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	73	達成率	243.33			予算額	50	352
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	50	352

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭・地域・図書館・学校等における読書環境の整備・充実を図り相互の連携を深めることは、子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長するため重要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民の学習活動が活発になるよう、他の自治体や市民団体、大学、研究機関などとの連携を強化するとともに、学習に関する様々な情報の提供や相談に対応できる体制を整えていく必要がある。	学習情報の提供や相談体制の整備、関係機関との連携強化により、市民の学習活動が活発になることが期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
生涯学習を推進するため、生涯学習情報の提供など啓発や相談に努めた。また、公民館では、継続的・体系的な学習機会を市民の年齢層に合わせて提供し、学習の成果を地域や日常生活に生かせるような支援ができた。さらに、31年度も長寿大学、熟年備学を開講し、潜在的な人材の発掘につなげる試みを実施した。引き続き図書館など大学との連携や鳥の博物館友の会による市民の学習支援など生涯学習を支える体制維持に努めていく。	市が実施する生涯学習事業の体系化や内容充実情報の共有化を図るとともに、市民団体や大学などと連携を図るなど効率的・効果的な生涯学習推進体制に一層努めていく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用	施策コード	51301	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	スポーツの振興			関係課		
	(3) 節の目的	誰もが、いつでも、生涯をとおしてスポーツを楽しめる環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に活動できる環境を整備するため、市民体育館など市のスポーツ施設の適正な維持管理を行うとともに、民間や近隣市町の体育施設を活用するなど、活動場所の確保に努めます。また、施設の修繕を計画的に実施するとともに、新たな武道施設の整備について、手法も含めて慎重に検討を進めていきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		安全で快適なスポーツ活動を行うことができる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<p>市民体育館施設、有料公園施設、多目的運動広場などの各社会体育施設や学校体育施設等の各種スポーツ施設を利用し、多くの方がスポーツ・レクリエーションに親しんでいます。これらの各種スポーツ施設は、老朽化が著しく進行しており、今後、計画的な修繕、改修を行っていく必要がある。</p> <p>また、社会体育施設については、施設の効果的・効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を活用している。</p> <p>布佐下多目的広場、浅間前多目的広場、市営ゲートボール場は、土地借上げによる施設となって</p>						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 体育施設の延べ利用者数	施設利用者数を参考にすることで、スポーツを通じた交流や健康づくりを促進できているか把握するため					
	② 学校体育施設開放利用者数	学校体育施設開放利用者を参考にすることで、地域の交流、健康づくり促進ができているか把握するため					
	③ 市民体育館利用者数	市民体育館利用者数を参考にすることで、健康増進に寄与できているか把握するため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	100,000	100,000	100,000	100,000
		実績値		99,724	91,720	96,562	74,980
		達成率		99.72	91.72	96.56	74.98
	②	目標値	人	210,000	210,000	210,000	210,000
		実績値		201,187	202,000	185,132	198,462
達成率		95.80		96.19	88.16	94.51	
③	目標値	人	180,000	180,000	175,000	176,000	
	実績値		163,563	172,390	180,465	163,005	
	達成率		90.87	95.77	103.12	92.62	
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	161,657	166,396	259,582	205,680	
		人件費	13,200	21,736	25,256	22,616	
		合 計	174,857	188,132	284,838	228,296	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	161,657	166,396	259,582	202,723	
		人件費	13,200	21,736	25,256	22,616	
合 計		174,857	188,132	284,838	225,339		

施策を構成する事務事業

事務事業名	体育施設管理運営事業				課名	文化・スポーツ課		
指標	体育施設の延べ利用者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	74,980	目標値	100,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	74,980	達成率	74.98			予算額	14,388	3,696
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	13,904	3,696

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民が安全で快適に活動できる環境を整備するという施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き推進していく。

事務事業名	学校体育施設開放事業				課名	文化・スポーツ課		
指標	延べ利用者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	0	目標値	210,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	198,462	達成率	94.51			予算額	25,816	1,408
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	25,452	1,408

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民のスポーツ活動場所の確保という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	体育施設維持補修（含む放射能対策）				課名	文化・スポーツ課		
指標	維持補修の進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	16,492	4,312
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	16,197	4,312

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民の健康維持・増進のため、身近な場所で安全で快適に活動できる環境を整備するという施策の実現に効果的な事業となっているため、現状どおり推進していく。

事務事業名	近隣市町との体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進				課名	文化・スポーツ課		
指標	一般開放している近隣市町・民間企業等の体育施設の数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
現況値	3	目標値	3	単位	施設	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	100.00			予算額	0	440
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	440

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民のスポーツ活動の場の確保として必要であり、市民の健康維持・増進を図るという施策の実現に効果的な事業となるため現状どおり推進していく。

事務事業名	武道施設の建設整備の検討				課名	文化・スポーツ課		
指標	整備計画の進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	968
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	968

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民のスポーツ進行という施策の実現に効果的な事業となるため、現状どおり推進していく必要がある。

事務事業名	市民体育館管理運営				課名	文化・スポーツ課		
指標	体育館施設の利用者数				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	163,005	目標値	175,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	163,005	達成率	93.15			予算額	105,922	2,464
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	105,770	2,464

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、指定管理者のノウハウを活かしスポーツ振興を図ることで、市民のスポーツ活動のの拠点として浸透していることから、現状どおり推進していく。

事務事業名	市民体育館維持補修				課名	文化・スポーツ課		
指標	維持補修進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	18,254	4,664
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	18,252	4,664

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民のスポーツ拠点施設として安全に利用してもらうため、今後も現状どおり推進していく必要がある

事務事業名	市民体育館改修事業				課名	文化・スポーツ課		
指標	改修工事進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	24,808	4,664
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	23,148	4,664

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

利用者が安全に利用するために引き続き改修工事を進めていく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民が安全で快適にスポーツを行えるよう、計画的に修繕をしていくことは有効な施策である。また、公共で足りない施設の民間施設の活用は、スポーツを行える環境作りに有効な施策である。	スポーツ施設について、計画的に修繕を行うことは、市民が安全で快適にスポーツ活動を行い健康づくりができる環境整備として必要である。また、足りない施設の民間施設活用も同様であり、引き続き推進していく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
市民体育館施設や運動場を計画的な修繕を行うなど、適正な維持管理を行うことや不足する施設の民間活用、近隣市との相互利用することは節の目的を達成するために有効な施策である。	スポーツ施設を適正に計画的に修繕を行うこと、適正に維持管理していくことは、市民誰もが、いつでも、どこでも生涯を通してスポーツを楽しめる環境づくりに有効な施策である。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
五本松運動広場について、国の交付金を活用し整備していけるよう検討をしていく必要がある。	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	生涯スポーツの推進	施策コード	51302	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	スポーツの振興			関係課		
	(3) 節の目的	誰もが、いつでも、生涯をとおしてスポーツを楽しめる環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	健康の保持・増進や地域のコミュニケーションづくりを図るため、スポーツ推進委員などと連携し、誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。また、生涯スポーツを支える人材を確保するため、スポーツ指導者の養成に取り組みます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
		どういう状態に	生涯を通してスポーツに親しむことができる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<p>スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、市内の中学校区毎に6つの総合型地域スポーツクラブが設立され活動を展開しているが、会員構成が高齢者中心となっているため、今後は子ども世代を取り込んだ総合型地域スポーツクラブの設立が必要である。</p> <p>地域におけるスポーツ振興の拠点としての機能を有する総合型地域スポーツクラブの充実を図る。</p> <p>生涯スポーツを支える人材を確保するため、我孫子市の公認スポーツ指導者制度の制定を行い、「楽しく」「正しく」「安全に」スポーツ本来の楽しさや素晴らしさを伝えることのできる指導者</p>						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 総合型地域スポーツクラブの会員数	生涯を通して健康・体力づくりを推進するための総合型地域スポーツクラブの設立数					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	800	800	800	800
		実績値		477	511	491	486
		達成率		59.63	63.88	61.38	60.75
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	13,581	19,532	16,148	16,556	
		人件費	4,400	4,488	4,840	4,840	
		合 計	17,981	24,020	20,988	21,396	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	13,581	19,532	16,148	14,688	
		人件費	4,400	4,488	4,840	4,840	
合 計		17,981	24,020	20,988	19,528		

施策を構成する事務事業

事務事業名	健康スポーツ普及事業				課名	文化・スポーツ課		
指標	イベント参加者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	7,553	目標値	11,000	単位	人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	7,553	達成率	68.66			予算額	16,556	4,840
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	14,688	4,840

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、市民の健康保持・増進やコミュニケーションづくりを図るという施策の実現に効果的な事業となっているため、現状どおり推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
誰もが、いつでも、生涯を通してスポーツを楽しめる場として総合型地域スポーツクラブは有効である。既存の6クラブの充実と新たな総合型地域スポーツクラブの設立を行うことは有効な施策であるため引き続き推進する。	誰もが、いつでも、生涯を通してスポーツを楽しめる環境づくりは、節の目的達成に有効な施策であるため、引き続き推進する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
総合型地域スポーツクラブを支援することや、指導者を養成することは、節の目的を達成するために有効な施策である。	既存の総合型地域スポーツクラブや指導者の養成講習会を開催し育成していくことは、節の目的を達成するために有効な施策である。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
新たな総合型地域スポーツクラブ設立に向けて具体的に事業展開をしていくことが必要である。	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	スポーツを楽しむ機会の充実	施策コード	51303	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	スポーツの振興			関係課		
	(3) 節の目的	誰もが、いつでも、生涯をとおしてスポーツを楽しめる環境をつくり、スポーツを通じた健康づくりや交流をはかります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	気軽にスポーツを楽しめるよう、スポーツ関係団体などとの連携によるスポーツ教室や、市民体育大会等のスポーツイベントを開催して、参加機会の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
		どういう状態に	気軽にスポーツを楽しむことができる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	多くの市民が気軽にスポーツを楽しめ、参加できるスポーツイベントとして、スポーツ団体との連携で、市民体育大会、県民体育大会、チャレンジスポーツフェスタ、新春マラソン大会、大人のスポーツテスト、ボールゲームフェスタや実行委員会形式でチームランなどのスポーツイベントの開催を通して市民の健康づくりや交流の機会を創る。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① スポーツイベントの参加者数	大会参加者数を把握することにより、市民が生涯をとおしてスポーツを楽しんでいるか把握できる（市民体育大会・チャレンジスポーツフェスタ・新春マラソン大会・手賀沼エコマラソン等のイベ					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績値		23,820	18,203	21,660	16,580
		達成率		119.10	91.02	108.30	82.90
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
		実績値					
		達成率					
	財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(9) 予算 (千円)		事業費	7,779	7,639	7,952	9,062	
		人件費	3,960	4,048	6,600	4,840	
		合 計	11,739	11,687	14,552	13,902	
(10) 実績値 (千円)		事業費	7,779	7,639	7,952	8,044	
		人件費	3,960	4,048	6,600	4,840	
		合 計	11,739	11,687	14,552	12,884	

施策を構成する事務事業

事務事業名	スポーツ振興事業				課名	文化・スポーツ課	
指標	交付人数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	142	目標値	150	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	142	達成率	94.67			予算額	9,062
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,044

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、スポーツ振興を図るという施策の実現に効果的な事業となっているため、引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
様々なスポーツイベントを開催することにより市民の交流が図れスポーツを通して健康づくりに有効な施策である。また、スポーツで成果をだした選手への奨励金交付や表彰を行うことは、節の目的達成に効果的な施策である。	スポーツイベントを開催することや選手への奨励金交付、表彰は市民がスポーツを通じた健康づくりに有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
体育館メインアリーナ棟屋根の破損により使用制限や新型コロナウイルス感染症によりイベントがフル開催ができないイベントもあったが、様々なスポーツイベントを開催することにより、市民がスポーツを楽しめる環境づくりを推進することから、節の目的を達成するために有効な施策である。	スポーツイベントの開催や選手への奨励金交付交付事業は、スポーツを通じた健康づくりに有効な施策である。
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	
<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	心身共に健康な児童・生徒の育成	施策コード	52101	施策主管部課	教育総務部 学校教育課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	秘書広報課 指導課	
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐくむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	児童・生徒				
		どういう状態に	心身共に健やかな成長を遂げている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・食に関する関心を深めるには、安心・安全な学校給食の提供と給食を教材とした食育の推進を図ることが重要である。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 学校生活を意欲的に送っている児童・生徒の割合	いじめや非行のない環境と学校生活満足度は関連が認められるため。					
	② 食に関する関心や理解度が高まった子どもの割合	食への関心や理解が高まることで、正しい食生活を営むことにつながり、ひいては心と体の健康を育むことができるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	60	60	61	61
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0.00	0.00	0.00	0.00
	②	目標値	%	87	88	89	90
		実績値		87.5	87.6	88.85	87.82
		達成率		100.57	99.55	99.83	97.58
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	137,831	140,819	142,975	139,166
		人件費	149,688	149,512	149,688	144,232
		合 計	287,519	290,331	292,663	283,398
	(10) 実績値 (千円)	事業費	137,831	140,819	142,975	131,157
		人件費	149,688	149,512	149,688	144,232
		合 計	287,519	290,331	292,663	275,389

施策を構成する事務事業

事務事業名	総合教育会議運営事務				課名	秘書広報課		
指標	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,760

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

我孫子市教育大綱に基づいて教育行政を推進するためには、市長と教育委員会との連携強化や情報共有が必要であり、総合教育会議はその役割を担っているため。

事務事業名	小中学校配置職員管理事業				課名	学校教育課		
指標	臨時職員配置定数(臨時用務員16名、事務補佐員6名、嘱託職員1)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	23	目標値	23	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	23	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	25,070	7,920

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

円滑に学校生活を送るために、臨時職員は必用不可欠である。

事務事業名	児童・生徒・教職員健康診断事業				課名	学校教育課		
指標	実施者数/児童・生徒・教職員健診対象者				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	96	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	96	達成率	96.97					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	31,160	5,280

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法令に規定があり、健康保持に必要な事業であるため、現状どおり推進する

事務事業名	我孫子市学校保健会運営				課名	学校教育課		
指標	生活習慣病予防検診実施者/対象者				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	54	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	54	達成率	67.50					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	581	7,040

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

総会等に諮りながら、適切な事業を実施していく

事務事業名	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業				課名	学校教育課		
指標	災害共済申請事務の減(申請件数)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	974	目標値	800	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	833	達成率	96.04					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,062	2,640

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

児童生徒が安心して学校生活を送るため、事業の優先度は高い。

事務事業名	学校給食備品管理事業				課名	学校教育課		
指標	計画表に基づく、備品の設置率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	133	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	78	達成率	97.50					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	16,216	3,080

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、学校教育の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。

事務事業名	学校給食管理運営事業				課名	学校教育課		
指標	安心・安全でおいしい学校給食の実施率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	94	達成率	94.00					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	39,903	102,960

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、学校給食の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。

事務事業名	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業				課名	学校教育課		
指標	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童生徒				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	87	目標値	90	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	87.8	達成率	97.56					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,193	2,200

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は学校教育の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。

施策を構成する事務事業

事務事業名	学校給食施設設備整備事業				課名	学校教育課		
指標	修繕・工事の実施率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	2,200
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 2,200	

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、学校教育の充実という施策の実現に効果的な事業となっているため、今後も引き続き現状通り推進していく。

事務事業名	小中学校体育・文化活動事業				課名	指導課		
指標	市内の体育活動や小中体育連盟等の活動費助成割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	8,538	6,952
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,104 6,952	

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状まま継続して進めていきたい。

事務事業名	幼保小連携				課名	指導課		
指標	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」を基にテーマを設定し、				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	5	単位	地区	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	5	達成率	100.00			予算額	443	2,200
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	443 2,200	

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

幼稚園、保育園、認定こども園から小学校への滑らかな接続のために、継続的に実施していくことが必要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
我孫子産米・我孫子産野菜を学校給食で使用する地産地消、その給食を教材とした地域に根ざした一層の食育の推進、児童生徒の発達段階に応じた健康教育の観点から、市民ニーズや社会状況等にも適した施策である。	思いやりのある豊かな心を育み、我孫子産米等を含む学校給食から食への関心を高め、心と体の健康を育むことができる施策であり児童生徒にとって重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
心身ともに健康な子どもの育成は、「生きる力」を育む上で欠かすことのできないものであり、児童生徒の健康教育を推進する事業や、給食を教材とした地域に根ざした食育の推進は大変有効であった。	施策の実現をめざし取り組んだ各種事業は、児童生徒の心身のバランスの良い発達に寄与した。また、食育を通して郷土の農業を知ることや、生産者に関心を持ち感謝する気持ちを育むためにも効果的であった。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	確かな学力の育成	施策コード	52102	施策主管部課	教育総務部 指導課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	教育研究所 学校教育課
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐくむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもの確かな学力を育成するため、少人数指導などの個に応じたきめ細かな指導を実施し、基礎的・基本的な知識や思考力、判断力、表現力の習得を支援するとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を育みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	児童・生徒			
どういう状態に		主体的・協働的に学習に取り組むとともに、基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力を身につけている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等の派遣を充実させる ・教職員研修の充実を図り、教職員の指導力の向上を図る ・校内研修を支えるために、要請訪問を充実させる 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 授業アンケートによる授業満足度	児童・生徒が満足できるような、分かりやすい授業を行っているかが分かるため。					
	② 全国学力学習状況調査における全国平均との比較（国語、算数・数学のA・B領域）	児童・生徒が基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力を身につけたかが分かるため（国語、算数・数学のA・B領域）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	90	90	90	90
		実績値		86.4	85.4	84.2	84.7
		達成率		96.00	94.89	93.56	94.11
	②	目標値	p	1	1	1	1
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0.00	0.00	0.00	0.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	230,730	224,759	226,838	224,489
		人件費	28,952	28,952	32,296	30,008
		合 計	259,682	253,711	259,134	254,497
	(10) 実績値 (千円)	事業費	230,730	224,759	226,838	217,364
		人件費	28,952	28,952	32,296	30,008
合 計		259,682	253,711	259,134	247,372	

施策を構成する事務事業

事務事業名	スクールサポート教員の配置事業				課名	学校教育課	
指標	スクールサポート教員の配置人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	6	目標値	7	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	6	達成率	85.71			予算額	9,854
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,721

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

小人数での指導や、きめ細やかな指導などを行うためにスクールサポート教員の配置は不可欠である。

事務事業名	学力向上研修				課名	指導課	
指標	標準学力調査結果の活用法研修会を授業改善に活かしたか(アンケート)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	62.3	目標値	70	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	75	達成率	107.14			予算額	33,424
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	30,480

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

児童生徒の実態を把握することは、授業改善を行う上で欠かせないことであり、授業改善が実現できることにより、児童生徒の学力向上が期待できる。

事務事業名	小中学校への要請訪問指導				課名	指導課	
指標	要請訪問の延べ人数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	132	目標値	80	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	148	達成率	185.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市内小中学校では、若年層の教職員が多くなっており、授業改善・指導力向上のための研修は必須であり、市の大切な事業である。

事務事業名	我孫子市学校教育施策の策定、編集				課名	指導課	
指標	関係者への配付率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	80
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	79

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

我孫子市学校教育施策のリーフレットを発行することにより、効率的に教育施策を周知することができ、貢献している。

事務事業名	教職員資質向上研修				課名	指導課	
指標	「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	90	目標値	90	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	98	達成率	108.89			予算額	2,396
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,218

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

研修会を企画したり、校内研修会で助言をしたりすることは、市内小中学校の教職員の資質向上のために必要なことである。

事務事業名	小中学校コンピュータ教育の推進				課名	指導課	
指標	教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	9.94	目標値	9.88	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	9.59	達成率	103.02			予算額	163,444
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	163,011

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

次期学習指導要領に対応するためにも、ICT機器を活用した学習指導、校務処理を実施できる環境が求められており、ICT機器の整備は必要度が高い。

事務事業名	学級経営の支援				課名	指導課	
指標	Q-U検査の結果や今後の学級経営について複数で検討した学級担任				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,684
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,471

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

Q-Uアンケートの実施と分析は子ども達と教師に定着してきている。より一層迅速な分析と子ども達への支援が求められる。

事務事業名	学校図書館活用の推進				課名	指導課	
指標	全ての学年において、授業者が学校図書館や市民図書館の図書を活用				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	4	単位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	18	達成率	450.00			予算額	8,634
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,504

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

学校司書連絡会での学校司書の研修の継続とともに、適切な蔵書管理ができるシステムの導入と読書や学習活動を広げる支援となる流通便の運用を検討し、今まで以上に我孫子市の子ども読書計画に寄与する。

施策を構成する事務事業

事務事業名	小中学校教師用教科書及び指導書の配付				課名	教育研究所		
指標	配布対象に対する教師用教科書、指導書配付率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,898	1,936
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,805	1,936

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今まで通り進めていく。

事務事業名	教職員研究論文集の発行				課名	教育研究所		
指標	論文内容の充実度				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	90	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	75	1,848
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	75	1,848

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

教職員の資質向上を図るために、今後も継続して本事業を行っていく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>学力向上は、指導課における最重要施策として位置付けている。したがって、教員の資質能力向上、学級・児童生徒支援（ALT、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等）は、市の重要な事業である。特に、昨年度、提案型公共サービス民営化制度で採択された「小中学校コンピュータ教育の推進事業」により、児童生徒や学校職員がいつでも機器を快適に利用できる環境を維持することができ、学習効果や校務の効率化につながる。これに伴い、ICT機器を効果的に活用し易くなることで、「わかる授業」の展開が期待できるため、学力の向上が図られることとなる。</p>	<p>確かな学力の育成は、生きる力の醸成における重要な施策である。昨年度より、教職員の校務が効率化されてきていることで、今まで以上に子どもに寄り添った指導が行えるようになることは、教育活動の質の向上をもたらすこととなる。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>学力向上に向けて、教職員の資質向上を目指している。学級や児童生徒支援をするために、ALT等の配置・研修会の実施・要請訪問等は重要な事業なので、積極的に実施している。「小中学校コンピュータ教育の推進事業」を進めていくことで、校務がより効率化され、教職員が児童生徒と向き合う時間が増え、今まで以上にきめ細やかな指導ができ、教育活動の質の向上にも繋がる。全国学力・学習状況調査や標準学力検査の分析と活用方法について研修会を実施し、授業改善を目指した。また、ICT機器を効果的に活用した授業や、図書館を活用した授業を展開することで「主体的・対話的で深い学び」の実現と、学力向上を目指した。</p>	<p>確かな学力の育成は、生きる力の醸成における重要な施策であり、教職員の校務が効率化されることで、今まで以上に子どもに寄り添った指導が行えるようになり、教育活動の質の向上をもたらすこととなる。またICT機器や学校図書館を有効に活用することで、主体的・対話的で深い学びが実現でき、学力向上につながる。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	小中一貫教育の推進	施策コード	52103	施策主管部課	教育総務部 指導課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課		
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐくむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもたちの学力向上や中1ギャップの解消、豊かな人間性・社会性の育成を図るため、9年間の義務教育を通じた系統的・継続的な指導を行います。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	児童・生徒				
どういう状態に		確かな学力を身につけるとともに、豊かな人間性・社会性を育てている					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の円滑な接続を重視し、学力向上と豊かな心の育成及び中1ギャップの解消を目指す、9年間を見通した小中一貫教育の推進 ・各中学校区で作成したランドデザインを基に、学校と保護者、そして、地域がお互いに協働し合いながら、それぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開する ・小中一貫教育カリキュラムを支えるICT教育の充実を図る 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 中学校区での小中交流行事の延べ実施回数	小中交流を実施することで中1ギャップを解消し、小中学校をなめらかに接続するため					
	② 小中一貫共通カリキュラムの実施率	小中学校で共通したカリキュラムを活用し、分離型の小中学校の教育活動を一貫して行うため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	回	36	36	48	48
		実績値		35	42	67	62
		達成率		97.22	116.67	139.58	129.17
	②	目標値	%	50	80	90	100
		実績値		40	58	75	100
		達成率		80.00	72.50	83.33	100.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	14,984	11,397	10,282	9,264	
		人件費	11,264	9,944	7,920	5,192	
		合計	26,248	21,341	18,202	14,456	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	14,984	11,397	10,282	8,514	
		人件費	11,264	9,944	7,920	5,192	
合計		26,248	21,341	18,202	13,706		

施策を構成する事務事業

事務事業名	小中一貫教育の推進				課名	指導課		
指標	Abi☆小中一貫カリキュラム授業の実施				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	38	単位	回	事業費(千円)		
実績値	38	達成率	100.00			予算額	9,264	正職員人件費(千円)
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,514	5,192

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

これまで通り、小中9年間を貫いた教育の推進のための取組に努める。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長 昨年度までに小中一貫教育の充実を目的として計画的に進めてきたタブレット型端末とICT教育支援員の全中学校区への配置が完了した。今年度からの全市展開において、それらの効果的な活用と、各中学校区が目指す小中一貫教育を一目でわかるようにデザイン化したランドデザインの作成により、学校と保護者、そして、地域がお互いに協働し合いながら、それぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開できるようになる。このことにより、子どもたちに「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育むとともに、ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもの育成を目指していく。	施策主管部長 小中一貫教育を通じて義務教育9年間を繋ぎ、社会に貢献できる自立した大人になるための基盤である、「たくましく生きる力の育成」を図ることは、本市の重要な施策である。その小中一貫教育が全市展開となった今年度は、各中学校区における特色ある教育の展開に向けた新たなスタートの年となる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長 学習指導要領の改訂に伴い、小中一貫教育基本方針の改訂を行った。また、今年度より小中一貫教育が全市展開となり、各中学校区のランドデザインにそって、小中一貫教育が実施された。小中一貫教育を支えるICT教育の充実に向けては、「Abi-ICTカリキュラム」に沿って授業実践をし、授業での利活用を図った。	施策主管部長 小中一貫教育を通じて義務教育9年間を繋ぎ、社会に貢献できる自立した大人になるための基盤である、たくましく生きる力の育成を図る教育を実践している。小中一貫教育が全面実施となり、各中学校区においてランドデザインに描かれた子ども像の育成に向けて、特色ある教育を実践した。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	安心して快適に学べる教育・学習環境の充実	施策コード	52104	施策主管部課	教育総務部 総務課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	学校教育・幼児教育の充実			関係課	学校教育課
	(3) 節の目的	子どもの個性や能力を生かし、創造性や自主性、社会性をはぐむと共に、子どもの心と体の発達に合わせた、きめ細かい教育をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施するなど、施設や設備、教育機器などの整備・充実に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	児童、生徒			
どういう状態に		教育・学習環境が充実し、安心して快適に学ぶことができる				
(6) 施策実施上の課題と対応	小中学校施設の老朽化に対応するため「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき「学校施設の個別施設計画」を平成31年度に策定する。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 小中学校施設の大規模改造実施棟数	平成31年度に策定予定である学校施設の個別施設計画に基づき、大規模改造工事を計画的に実施し安全で快適な学習環境を整備する。					
	② 学校に配置したタブレット端末の台数	ICT機器を活用したわかりやすい授業や、学ぶ環境がどのくらい整っているか分かるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	棟	0	0	0	0
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0	0	0	0
	②	目標値	台	161	530	274	280
		実績値		241	281	361	287
		達成率		149.69	53.02	131.75	102.50
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	776,348	803,665	962,510	743,469
		人件費	59,840	54,120	52,800	52,800
		合計	836,188	857,785	1,015,310	796,269
	(10) 実績値 (千円)	事業費	776,348	803,665	962,510	689,772
		人件費	59,840	54,120	52,800	52,800
合計		836,188	857,785	1,015,310	742,572	

施策を構成する事務事業

事務事業名	小中学校施設 の維持管理				課 名	総務課		
指 標	改善工事・修繕実施校数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	19	目標値	19	単 位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	19	達成率	100.00			予算額	339,864	11,000
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	338,587	11,000

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校施設の維持管理に必要不可欠な事業であり、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	学校施設個別施設計画の策定・推進				課 名	総務課		
指 標	個別施設計画策定				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単 位	計 画	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	10,637	3,960
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,487	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

老朽化が進む学校施設を計画的に整備する必要がある。

事務事業名	学校の環境衛生事業				課 名	学校教育課		
指 標	基準値内校/全19校				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	17,302	4,400
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	12,564	4,400

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令等に規定があり、校内環境維持のために必要な事業であることから、現状どおり推進する

事務事業名	小中学校管理運営事業				課 名	学校教育課		
指 標	予算執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	316,442	22,880
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	271,773	22,880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

小中学校の消耗品・光熱費等を集中管理し、事務の効率化や適正な予算執行を行う。

事務事業名	小学校の安全管理員の配置				課 名	学校教育課		
指 標	未事故であった小学校				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	13	目標値	13	単 位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	13	達成率	100.00			予算額	19,090	1,320
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	18,002	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校の安全確保に寄与する事業であるが、事業の効率性を見直す

事務事業名	小中学校備品管理事業				課 名	学校教育課		
指 標	予算執行率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	40,064	3,080
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	38,359	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市が予算の管理を行い、学校は優先順位を決めて備品を購入することで学習環境の充実を目指す。

事務事業名	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業				課 名	学校教育課		
指 標	適切な事務の遂行。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	70	6,160
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	6,160

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令に従い、今後も市において業務を推進する

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>安全で安心して快適に学べる教育・学習環境を整備するため、老朽化した学校施設の改修や教育環境に合わせた施設改修は必要である。</p> <p>なお、今年度については「学校施設の個別施設計画」を策定し、本計画に基づき今後の学校施設の改修を計画的・効率的に行うこととしている。</p> <p>また、ICT機器や備品の更新を行うなど充実した設備を活用し、児童・生徒が快適に学ぶことができるよう整備していくことは重要な施策と考える。</p>	<p>児童生徒が安全で、安心して快適に学ぶことができるための学校施設の改修や、児童生徒の発達段階に応じた学習環境を整えていくことは重要な事業であり、学びやすい環境をつくるために必要な施策と考える。また、今年度は「学校施設の個別施設計画」を策定する年になっている。今後の児童生徒数や小中一貫教育等を鑑み、効果的で効率的な計画としたい。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>校舎等の老朽化対策、教育機器及び備品等の更新・整備を実施することができた。</p> <p>また、「我孫子市学校施設個別施設計画」の策定が完了し、今後は本計画に基づき学校施設の整備・改修を計画的に実施していく。</p> <p>この他、ICT機器や教育機器を充実させることで、安心して快適に学べる教育環境を整備することができた。</p>	<p>「学校施設個別施設計画」の策定が完了した。今後は、計画に基づき、市長部局と財政面等を協議しながら計画的に進めていく。</p>
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地域全体で学校教育を支えるしくみづくり	施策コード	52201	施策主管部課	教育総務部 指導課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域に根ざした教育の充実			関係課	学校教育課	
	(3) 節の目的	子どもが地域に愛着と誇りを持てるよう、地域と交流し、地域の人に学ぶしくみをつくります。また、我孫子の自然や文化などを活用した我孫子らしい教育をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	学校教育を地域全体で支えるため、PTAと協働し、市内の全小中学校に設置されている学校支援地域本部を中心に、自然や歴史、文化、人材などの地域資源を学習や部活動に活用していきます。また、学校評議員制度による開かれた学校づくりに取り組み、学校と地域の交流の拡大を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	学校関係者（児童・生徒）と地域の人々				
どういう状態に		お互いの交流が活発になり、地域全体で学校教育を支えている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に在住している潜在的な学校支援ボランティアを地域行事や学校行事等を通じて発掘する ・地域在住者によるボランティアに加えて、児童生徒に年齢が近い高校生、大学生による学習ボランティアへの参加を積極的に呼び掛けることにより、学習支援環境の整備に努める ・職場体験の充実を目指して、その受入事業所数の拡大を目的に、我孫子市キャリア教育推進協議会を活用する 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 学校への支援ボランティアに参加した延べ人数	地域ぐるみで子育てに関わっているかが分かるため。					
	② 職場体験学習に協力した事業所などの延べ数	生徒の職場体験学習の内容が充実しているかが分かるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	44,000	50,000	43,000	45,000
		実績値		42,899	42,062	42,599	44,592
		達成率		97.50	84.12	99.07	99.09
	②	目標値	件	468	468	469	472
		実績値		398	451	475	480
		達成率		85.04	96.37	101.28	101.69
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	10,394	15,994	14,062	15,616	
		人件費	3,696	3,608	4,136	3,960	
		合 計	14,090	19,602	18,198	19,576	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	10,394	15,994	14,062	12,306	
		人件費	3,696	3,608	4,136	3,960	
合 計		14,090	19,602	18,198	16,266		

施策を構成する事務事業

事務事業名	学校評議員制度の充実				課名	学校教育課		
指標	学校評議員による学校評価及び改善への学校の取組み状況。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	90	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	82	達成率	91.11			予算額	504	880
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	284	880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校評議員の意見や助言を反映し、よりよい学校運営を目指していく。

事務事業名	キャリア教育の推進				課名	指導課		
指標	「Abi-キャリア」を自校の教育課程（年間指導計画）に明示した学校				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	6	目標値	10	単位	校	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	30.00			予算額	1,138	2,376
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	938	2,376

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

激しい時代の変化に対応したキャリア教育の方針の下、指標を見直して推進する必要がある。

事務事業名	学校支援事業の充実				課名	指導課		
指標	学校への支援ボランティアに参加したのべ人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	42,062	目標値	45,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	44,592	達成率	99.09			予算額	13,974	704
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,084	704

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

小中一貫教育の実施に伴い中学校区毎での学校支援地域本部事業の充実と連携を推進したい。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>子どもたちが「ふるさと我孫子」を誇りに思えるように、地域、学校、行政が連携して「すべては子どもたちのために」の合言葉の下に活動していくことが重要である。思考力、判断力、表現力のみならず、現在求められている主体性、多様性、協調性を養うためにも、本施策の役割は大きい。学校支援地域本部事業としての地域ボランティア、学生ボランティアによる学校支援を充実させていくことで、更なる効果的な教育が展開できる。</p>	<p>子どもたちに充実した価値ある教育活動を実施するには、地域の協力は不可欠である。その中核となる活動が学校支援地域本部事業であるが、その運営のためには、コーディネーターと学校担当者が中心となり、ボランティアによる学校支援を充実させていくための知恵を出し合い、学校のニーズにあった活動を展開していくことが重要となる。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>子どもたちに充実した価値ある教育活動を実施するには、地域の協力は不可欠である。各中学校区において、学校支援コーディネーターを中心に、地域ボランティアの拡充に努めた。また、市内にある高等学校や大学と連携して、学生ボランティアによる学校教育活動の支援の充実を図った。</p>	<p>子どもたちが「ふるさと我孫子」を誇りに思えるよう、地域・学校・行政が連携して、学校支援を行っている。学校支援地域本部事業を中核とし、学校支援コーディネーターと学校担当者が連携して、地域ボランティアや学生ボランティアによる学校支援の充実に取り組んでいる。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地域に密着した学習の場の提供	施策コード	52202	施策主管部課	教育総務部 指導課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域に根ざした教育の充実			関係課	教育研究所	
	(3) 節の目的	子どもが地域に愛着と誇りを持てるよう、地域と交流し、地域の人に学ぶしくみをつくります。また、我孫子の自然や文化などを活用した我孫子らしい教育をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	郷土について学ぶ機会を充実するため、地域学習や環境学習等を実施するとともに、地域に関する資料を収集し学習に活用するふるさとカリキュラムを推進します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	児童・生徒				
どういう状態に		地域に対する愛着を深めるとともに、郷土に関する知識を身につけている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の教育課程の中に位置付けて、計画的に実施していくこと ・「ふるさと我孫子」への愛着を教職員および児童生徒が感じられるように学習を進める 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 地域について学ぶ授業の実施率	子どもたちが地域と郷土に愛着と誇りを持ち、心豊かに育つための機会を提供したかが分かるため。					
	② 高校生・大学生の学習支援ボランティアの延べ参	高校生大学生の学習支援ボランティアを活用したか分かるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	80	85	90	100
		実績値		87	97.7	100	100
		達成率		108.75	114.94	111.11	100.00
	②	目標値	人	400	420	700	750
		実績値		256	730	438	451
		達成率		64.00	173.81	62.57	60.13
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	6,049	3,708	2,694	2,662	
		人件費	3,344	4,224	4,576	3,608	
		合 計	9,393	7,932	7,270	6,270	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	6,049	3,708	2,694	2,613	
		人件費	3,344	4,224	4,576	3,608	
合 計		9,393	7,932	7,270	6,221		

施策を構成する事務事業

事務事業名	子ども議会				課名	指導課		
指標	未実施年				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	0	単位	数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	0	616
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	616

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も体験を通して、小中学生に議会制民主主義について理解を深めてほしい。

事務事業名	ふるさとカリキュラムの実施				課名	指導課		
指標	自校の教育課程に「Abi-ふるさと」を位置づけた学校数の割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	97.7	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,638	440
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,590	440

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

小中一貫教育の柱の一つである「Abiふるさと」のカリキュラムの実施は、我孫子市を愛し、誇りに思う気持ちを育むために必要な事業である。

事務事業名	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂				課名	教育研究所		
指標	内容を検討し指導計画及び評価問題を改訂した割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	12	1,496
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	11	1,496

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

4年に1度の改訂に最新の情報を掲載するためには、今後も継続して本事業を行っていく必要がある。

事務事業名	副読本(学習図鑑「ふるさと手賀沼」)の改訂				課名	教育研究所		
指標	当該年度の第8版編集作業計画のうち実施した割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	12	1,056
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	12	1,056

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今まで通り進めていく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
「ふるさと我孫子」についての愛着と誇りを持つために、地域の自然の豊かさや郷土の誇りである歴史上の人物、我孫子市の発展に貢献した人物について学ぶ。その学習を通して、新たな発見と驚き、そして感動を味わいながら学んでいけるような学習環境の整備を心がけていくことが重要である。それにより、郷土愛が生まれ、自分の未来についての希望を持ち、地域の人々との交流を通して学びを深めていくことができる。	子どもたちが学習を通して我孫子の自然や文化に親しみ、我孫子についての知識を身に付け、「ふるさと我孫子」に対する愛情を育てていくための大切な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
子ども達が「ふるさと我孫子」について、愛着と誇りを持つために、地域の自然の豊かさや、郷土の誇りである歴史上の人物、我孫子市の発展に貢献した人物について学んでいる。また、地域学習において地域の人々と交流したり、キャリア教育で地域の事業所で職場体験をしたり、話を聞いたりして学びを深めている。	さまざまな教育活動を通して、「ふるさと我孫子」に対する愛着や誇りを育てている。子ども達が我孫子の自然や文化に親しむとともに、我孫子についての知識を身につけ愛着を深めている。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	教育相談・支援体制の充実	施策コード	52301	施策主管部課	教育総務部 教育研究所	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	子どもの成長・自立への支援			関係課	学校教育課	
	(3) 節の目的	学校、家庭、地域が連携し、地域の中で子どもが心豊かで健全に育つための環境をつくります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもの心と体の発達に応じた教育を推進するため、療育・教育システムの構築や特別支援教育の充実、学校支援体制の強化に努めるなど、教育相談・支援体制の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	子ども				
どういう状態に		心と体の発達に応じた教育を受けることができる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する子どもたちの実態や教育ニーズに対して、とくに学習面、生活面できめ細やかな配慮や 対応をしていく必要がある。 ・特別支援教育をさらに充実させるために、保護者の理解と協力を得て個別の教育支援計画を作成し、計画に基づいてきめ細かい支援を行う必要がある。 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 個別の指導計画の作成率	個に応じた適切な指導が行われるには、個別の指導計画作成率を向上させることが必要なため。					
	② 不登校の出現率（小中学校の合計）	児童の悩みの解決を支援して学校生活を過ごせるよう不登校の児童の割合を下げる必要があるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	98	98	98	98
		実績値		97	98	100	100
		達成率		98.98	100.00	102.04	102.04
	②	目標値	%	1.5	1.4	1.4	1.3
		実績値		1.6	1.8	1.7	1.9
		達成率		93.75	77.78	82.35	68.42
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	201,780	213,893	236,616	241,455	
		人件費	47,520	50,160	50,600	50,248	
		合 計	249,300	264,053	287,216	291,703	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	201,780	213,893	236,616	228,865	
		人件費	47,520	50,160	50,600	50,248	
合 計		249,300	264,053	287,216	279,113		

施策を構成する事務事業

事務事業名	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業				課名	学校教育課		
指標	学校長の請求に基づき支給。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	124,178	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	117,018	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで施策目的の達成に寄与している。

事務事業名	発達障害のある児童・生徒の就学指導				課名	教育研究所		
指標	相談人数・審議人数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	332	3,696
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	321	3,696

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、一人ひとりにあった就学指導、支援を行うためには継続して行う必要がある。

事務事業名	スーパーバイザー派遣事業				課名	教育研究所		
指標	指導・助言が役に立った率・満足度（派遣校にアンケートを実施）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	90	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	300	1,056
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	180	1,056

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

派遣の回数は昨年度よりも減っているが、外部の専門的な意見を求める学校はある。研究所アドバイザーおよび県アドバイザー派遣とともに各学校が活用できるよう、少し回数を減らして今後も実施していく。

事務事業名	学級支援員派遣事業				課名	教育研究所		
指標	対象児童生徒への配置率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	87,207	3,256
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	84,861	3,256

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

学校からの派遣希望は絶えない。少しでも多くの支援員を希望している。外国からの転入者は、ほぼ日本の生活が初めてで日本語が全くわからない状態である。学校のニーズに応えられるよう、今後も派遣が必要である。

事務事業名	教育研究所巡回事業				課名	教育研究所		
指標	「個別の教育支援計画・個別の指導計画」作成率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	95	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,259	4,136
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	970	4,136

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

各学校の状況を確認するために、年2回の実施は必要である。

事務事業名	特別支援教育に関する研修会				課名	教育研究所		
指標	受講者の理解度及び満足度（受講者へのアンケートによる）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	85	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	87	達成率	87.00			予算額	254	4,400
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	拡充	実績値	151	4,400

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

特別支援教育推進のために、教職員の研修は不可欠である。

事務事業名	教育研究所アドバイザー事業				課名	教育研究所		
指標	アドバイザーの支援が役に立った率・満足度（全校にアンケートを実施）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	80	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	92	達成率	92.00			予算額	3,881	8,976
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,981	8,976

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

校内の支援だけでは対応が難しい複雑なケースがあり、学校と密に連携を図りながら、そのような児童生徒に即時に支援できる本事業は重要だと考える。

事務事業名	就学相談事業				課名	教育研究所		
指標	就学相談で助言した就学先と保護者が選択した就学先の一致率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	79.5	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	82.6	達成率	103.25			予算額	2,559	4,576
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,982	4,576

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市が主導して行う必要のある事業であるため。

施策を構成する事務事業

事務事業名	長欠対策事業				課名	教育研究所		
指標	受理した相談の解消率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	60	目標値	70	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	65	達成率	92.86			予算額	11,326	3,520
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,229	3,520

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

基本は今まで通り進めていくが、心の教室相談員の勤務時間や勤務曜日の拡充を検討していきたい。

事務事業名	教育相談・発達相談事業				課名	教育研究所		
指標	継続ケースの保護者にアンケートを実施し、相談の満足度をはかる。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	98	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	90	達成率	90.00			予算額	4,113	12,936
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,833	12,936

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ニッチな相談事業ではあるが、子育てする中で悩む保護者や、保護者や周囲との人間関係に悩む児童生徒を専門的観点から支える重要な事業である。

事務事業名	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営				課名	教育研究所		
指標	ヤング手賀沼に通級している児童生徒の出席率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	53	目標値	60	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	30	達成率	50.00			予算額	6,046	1,056
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	見直し	実績値	5,339	1,056

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今まで通り進めていく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>発達障害等、様々な課題を抱えた児童生徒及び不登校児童生徒が急増している現状にあって一人一人のニーズに応じた教育を実践していくためには、教育研究所が実施している教育相談の充実とともに、各学校において適切な対応・指導が為されるようアドバイザー事業を充実させて教職員のスキルを向上させる必要がある。また、特別支援教育の視点を取り入れた学校・学級経営を推進することで、すべての児童生徒の学習意欲が高まるとともに不登校児童生徒の減少にもつながっていくと考えられる。この実現のために、教育研究所の体制をさらに充実・強化させ、学校への支援を今以上に手厚くしていくことが不可欠である。また、他機関</p>	<p>今、市内では特別支援学級の数が増加していることに加え、通常学級に在籍する発達障害等の課題を抱える児童生徒数も増加し、不登校児童生徒数もなかなか減少していかない。そのような児童生徒一人一人に寄り添い、個々のニーズに応じた特別支援教育や長欠対策を展開していくためには、教育研究所の実施している事業を軌道に乗せ、学校との連携を密にすることはもちろん、市長部局の子ども相談課等の関係機関との連携も図っていく必要があると考える。本人の要因もさることながら、様々な環境的要因によって子ども達の教育を受ける権利が奪われることのないように、教育研究所を核とした児童生徒への支援体制を強化してい</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>特別支援教育推進、長欠児童生徒対策、教育・発達相談、教育研究と多岐に渡って事業を推進してきた。また、切れ目のない支援体制事業の整備として、療育・教育システム連絡会の運営、教育支援委員会の運営、就学相談、いじめ・悩みホットラインの事業も推進してきた。</p> <p>発達特性を抱えている児童生徒や愛着に課題を抱えている児童生徒が増加し、家庭教育の状況も格差が生じている中で、個々に応じた教育的支援が重要になり、教職員のさらなるスキルアップが求められている。教育研究所が学校への支援や教職員の支援、保護者への支援を行うことで、子どもたちが心豊かで健やかに育</p>	<p>特別支援学級担任の若年化に対応した研修等が必要。教育研究所で研修内容等を詰めているので、次年度以降は年度当初に研修会を設けるなどして学校現場をフォローしていく。</p> <p>教育研究所の相談体制は充実しているが、各学校の相談体制は今一歩であった。一層、教育研究所と連携をするのと同時に、学校内の組織の活性化を図っていく。</p>
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営を検討することを含め、教育研究所の業務を規定する設置条例等を見直す必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	いじめ・非行防止対策の推進		施策コード	52302	施策 主管部課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	子どもの成長・自立への支援			関係課	教育総務部 指導課	
	(3) 節の目的	学校、家庭、地域が連携し、地域の中で子どもが心豊かで健全に育つための環境をつくります。				子ども相談課 教育研究所 社会福祉課	
	(4) 施策の目的・展開方向	子どもたちが安心して生活し、健やかに成長することができる環境をつくるため、教育委員会や学校、保護者、市民などと連携しながら、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に向けた取り組みを進めます。また、青少年の非行を防止するため、PTAや少年指導員、防犯協議会などと連携して街頭パトロールを実施するとともに、非行防止に関する情報を積極的に提供していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	青少年				
どういう状態に		いじめや非行の防止に向けた取り組みが展開され、子どもたちが健全に成長している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	・ 施策目的達成のため、現組織や街頭指導等の人員および情報提供等に関する環境は整備されている。また、子ども110番の家や各地域の子ども見守り隊などが拡充されてきている。今後、更に市民や関係機関との連携強化と情報交換を密に行い、子どもが安心して生活できる環境を整備していきたい。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 学校生活を意欲的に送っている児童・生徒の割合	いじめや非行のない環境と学校生活満足度は関連が認められるため					
	② 子ども110番の家の設置数	少年が事件・事故に巻き込まれることを防ぐため、子ども110番の家を増やしていく					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	60	60	61	61
		実績値		62.3	62.1	62.2	58.2
		達成率		103.83	103.50	101.97	95.41
	②	目標値	か所	770	785	690	700
		実績値		679	660	657	638
		達成率		88.18	84.08	95.22	91.14
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	8,252	8,912	9,143	9,374	
		人件費	13,904	14,432	12,232	17,336	
		合 計	22,156	23,344	21,375	26,710	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	8,252	8,912	9,143	8,680	
		人件費	13,904	14,432	12,232	17,336	
合 計		22,156	23,344	21,375	26,016		

施策を構成する事務事業

事務事業名	社会を明るくする運動				課名	社会福祉課	
指標	啓発活動情報提供者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	500	目標値	500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	500	達成率	100.00			予算額	102
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	97

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当運動を展開することにより、市民相互の助け合い精神を高め、地域力を向上することにより、犯罪予防の向上や非行防止に寄与していく。

事務事業名	少年センター業務				課名	指導課	
指標	触法少年への積極的な声かけ活動の展開で安全な暮らしを確保する。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	750	目標値	800	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	861	達成率	107.63			予算額	4,861
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,265

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

青少年の非行防止、事故防止は市民や保護者の願いでもあり、継続的なパトロールは必要不可欠であり、不審者情報等をいち早く学校に知らせることで未然防止と抑止効果が期待できる。

事務事業名	いじめ防止対策事業				課名	指導課	
指標	我孫子市いじめ防止等に関する施策の実施				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	8	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	8	達成率	100.00			予算額	2,908
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,824

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

いじめに苦しむ子どもをなくしていくため、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応の取り組みを進めていくこと、関係機関や専門家など、多角的な視点からの防止対策を検討していくことは、今後も重要なことである。

事務事業名	小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン				課名	教育研究所	
指標	児童生徒の相談件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	40	目標値	50	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	27	達成率	54.00			予算額	1,485
事務事業の施策への貢献度	○高い ○普通 ●低い			評価	現状	実績値	1,483

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

相談窓口として、電話とメール以外のSNSの活用などを今後検討していく必要がある。

事務事業名	いじめ問題対策連絡協議会等の運営				課名	子ども相談課	
指標	市いじめ問題対策連絡協議会の開催回数を年1回にする。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	18
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	11

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

児童の心身のすこやかな発達を支援し、安心して学べる教育や学習環境の整備と充実が努めることが必要であり、今後も充実を図るべき事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>いじめ防止対策では、いじめアンケートやQ-U検査の継続的実施はもとより、「児童生徒が主体的に取り組む活動」を推進していくことにより、「いじめをなくす」という大きな目標に向かっての環境作りに努めていくことが重要である。また、インターネットを介してのいじめ等についても、情報モラル教育の継続やその防止策についての研修会を行っていくことが不可欠である。</p> <p>少年指導員を中心に学校や関係機関と連携し、パトロールを実施したり、不審者情報をメールで配信したりすることは、子どもの生活環境浄化及び整備に繋がるとともに、市民の安全意識の向上や住みやすい環境づくりにも大きく関わる。</p>	<p>いじめ防止対策においては、いじめアンケートをはじめとする客観的な調査を継続して実施するとともに、その結果を基にした迅速な対応を行うことが重要である。また、普段からいじめが起こらないような健全な環境を、全職員、保護者、児童生徒等と協力しながら、築き上げていくことも大切である。</p> <p>青少年の健全育成のためには、学校や少年指導員等および関係機関と連携しながら活動を推進していくことが不可欠である。また、連携をより強固なものにしていく努力を積み重ねるとともに、市民が安心して生活できる地域環境を整えていく必要がある。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>いじめアンケートやQ-U検査を活用し、いじめの早期発見・早期対応に努めた。また、いじめ根絶に向けて、児童生徒が主体的に取り組めるよう、学校教育全体で取り組むようにした。インターネットを介してのいじめ未然防止のため、情報モラル教育を計画的に実施するよう周知している。また少年センターだよりの中で、携帯電話やスマートフォンの使い方について保護者にも啓発し、トラブルに巻き込まれないようにした。少年指導員を中心に学校や関係機関と連携し、パトロールを実施したり、不審者情報を発信したりすることで、子ども達の健全育成と安全安心な環境づくりに繋がっている。</p>	<p>いじめアンケートの実施やいじめ防止対策担当による巡回指導により、いじめの早期発見・早期対応に努めた。</p> <p>青少年の健全育成のため、少年指導員や学校、関係機関と連携しながら活動を推進している。子ども見守り隊の隊員登録数も年々増加し、子どもの見守りをする大人の目が増えている。地域の子どもの地域で守る意識が高くなり、子どもはもとより市民が安心して生活できる地域環境が整ってきている。地域の見守り意識が高くなることで、防犯だけでなく、いじめに対しても抑止効果がでてくる。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	文化芸術活動への支援と環境整備	施策コード	53101	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	文化芸術の振興			関係課	生涯学習課 企画課	
	(3) 節の目的	市民の自主的な文化芸術活動を推進するとともに、我孫子で新たな文化や芸術活動が生まれ、発展していくための場や機会を提供し、活動を支援します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民の自主的な文化芸術活動を促進するため、共催・後援事業の拡充を図ります。また、活動や発表の場を提供するため、既存施設の効率的利用を一層進めるとともに、さまざまな整備手法を検討しながら、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいを生み出す文化交流拠点施設の整備に取り組みます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民や文化団体				
どういう状態に		自主的な文化芸術活動が活発に行われている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	・文化芸術に対する具体的な施策となるため、中・長期の見通しをたてる必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 文化芸術活動の発表機会の数	文化芸術の振興には、担い手への支援が必要であり、文化芸術の担い手の人々は展示会や発表会の場を求めている。その希望に応えることが、支援に繋がるものである。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	件	97	100	100	100
		実績値		110	106	106	105
		達成率		113.40	106.00	106.00	105.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,147	1,686	3,087	15,638	
		人件費	11,440	12,320	11,616	10,824	
		合 計	12,587	14,006	14,703	26,462	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,147	1,686	3,087	15,475	
		人件費	11,440	12,320	11,616	10,824	
合 計		12,587	14,006	14,703	26,299		

施策を構成する事務事業

事務事業名 新たな文化交流拠点施設整備の検討					課名 企画課				
指標 「建設構想」策定の進捗率					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	10	目標値	15	単位	%	事業費(千円)			
実績値	15	達成率	100.00			予算額	434	正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	434	2,288
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
令和元年5月の春のふれあい懇談会に公表できた。機能・規模をひとつの方向へ集約していくため、市民の意見を聴いていく									
事務事業名 文化事業市民スタッフの活用					課名 文化・スポーツ課				
指標 事業へのスタッフの協力者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	84	目標値	120	単位	人	事業費(千円)			
実績値	84	達成率	70.00			予算額	719	正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	718	968
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
これまでどおり、市主催のイベントへの協力を依頼する。									
事務事業名 文化芸術団体活動支援					課名 文化・スポーツ課				
指標 参加者(鑑賞者)数(共催している事業の参加者数)					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	48,579	目標値	59,000	単位	人	事業費(千円)			
実績値	48,579	達成率	82.34			予算額	1,357	正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	見直し	実績値	1,269	2,024
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
これまで、市の共催事業として実施していたが、企画・運営には直接かかわっていないため活動支援の方法を見直す必要がある。									
事務事業名 文化芸術振興基本方針の推進					課名 文化・スポーツ課				
指標 推進した進捗率					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)			
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	その他	実績値	0	1,496
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
文化芸術基本方針に基づき、文化芸術に触れる機会を提供していく									
事務事業名 めるへん文庫					課名 文化・スポーツ課				
指標 応募作品数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	159	目標値	190	単位	編	事業費(千円)			
実績値	159	達成率	83.68			予算額	13,128	正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	13,054	2,288
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
図書館と連携し、読書と創作活動の推進を行う。									
事務事業名 新たな文化交流拠点施設整備の検討					課名 生涯学習課				
指標 市民に検討した内容を示す機会の回数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)			
実績値	6	達成率	600.00			予算額	0	正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	0	1,760
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
建設構想の策定に向けて事業を進めていく。									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民が自主的な文化芸術活動を推進するためには、必要な施策である。	文化芸術団体を育成するには、効果的な事業である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民の自主的な文化芸術活動を促進するためには、共催事業を行うことや事業に市民スタッフを活用することやめるへん文庫で子どもたちの創作活動を推進することは、有効な施策である。	節の目的である市民の文化芸術活動を推進することや、活動の場や機会を提供することは、効果的な事業である。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
新たな文化交流拠点施設整備の検討については、慎重に検討進める必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	新たな文化芸術活動の創出	施策コード	53102	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	文化芸術の振興			関係課		
	(3) 節の目的	市民の自主的な文化芸術活動を推進するとともに、我孫子で新たな文化や芸術活動が生まれ、発展していくための場や機会を提供し、活動を支援します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	幅広い年代の市民が新たに文化芸術に親しめるよう、イベントや活動団体の情報を広く発信するとともに、ふれる機会や参加する機会の充実を図ります。また、さまざまな分野で我孫子の自然や風土をいかした新たな文化芸術活動が生まれるよう、個人や団体への支援に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	新たに文化芸術に親しむ市民				
どういう状態に		新たな文化芸術活動に親しむ市民が増えるとともに、新たな文化芸術活動が創設されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	どの施策もより多くの方に参加（事業・鑑賞）してもらうことが課題である。参加（事業・鑑賞）者が少ない施策については早めに見直していく。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 文化芸術団体の数	文化芸術の発展には、様々な分野で新たな文化が生まれる事が望まれる。団体活動が活発となるには、団体数の増加が望まれる。					
	② 文化芸術団体に所属する人の数	新たに文化芸術に親しむ方々が増えるよう、触れる機会や参加する機会の充実が必要であり、団体に所属することが、参加する機会の確保に繋がるため。					
	③ 子どもや若者のためのイベントの入場者数	より多くの子どもたちに文化芸術の素晴らしさに触れるなど、子どもたちへの支援が必要であるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	団体	36	36	37	37
		実績値		31	30	31	33
		達成率		86.11	83.33	83.78	89.19
	②	目標値	人	4,100	4,100	4,150	4,150
		実績値		4,174	3,900	3,722	3,644
達成率		101.80		95.12	89.69	87.81	
③	目標値	人	500	550	600	650	
	実績値		828	1,108	1,476	494	
	達成率		165.60	201.45	246.00	76.00	

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	6,436	12,464	7,109	7,046
		人件費	6,248	7,920	7,656	7,656
		合 計	12,684	20,384	14,765	14,702
	(10) 実績値 (千円)	事業費	6,436	12,464	7,109	6,596
		人件費	6,248	7,920	7,656	7,656
合 計		12,684	20,384	14,765	14,252	

施策を構成する事務事業

事務事業名 市民コンサート					課名	文化・スポーツ課	
指標 来場者数					政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	897	目標値	950	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	897	達成率	94.42			予算額	329
事務事業の施策への貢献度 ○高い ●普通 ○低い					評価	結合	実績値
						324	1,056
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
我孫子市民コンサート実行委員会を組織し実施していたコンサートであったが、市民会館閉館に伴い演奏会の規模が縮小され、様々な団体とのコラボができなくなった。共催事業として実施することを見直す必要がある。							
事務事業名 文化祭					課名	文化・スポーツ課	
指標 参加者数					政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	3,624	目標値	4,900	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	3,624	達成率	73.96			予算額	4,744
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値
						4,580	2,640
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
文化芸術活動を行っている方々の発信、発表の場として存続させる必要がある。そして、若い世代を惹きつけられるような市民文化祭を目指す。							
事務事業名 子どものための舞台鑑賞事業					課名	文化・スポーツ課	
指標 入場者数					政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	181	目標値	400	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	181	達成率	45.25			予算額	1,196
事務事業の施策への貢献度 ○高い ●普通 ○低い					評価	現状	実績値
						1,048	1,320
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
感性豊かな子どもたちが育つよう、これからも質の高い舞台を提供していく。							
事務事業名 寄贈絵画の保存と活用					課名	文化・スポーツ課	
指標 入場者数					政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	1,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	515
事務事業の施策への貢献度 ○高い ●普通 ○低い					評価	現状	実績値
						416	1,320
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
寄贈作品は多数存在しているが、修復を要するものが多い。マンネリ化しない作品展を開催するには修復を進めていく必要がある。							
事務事業名 市民参加型コンサート					課名	文化・スポーツ課	
指標 主催事業実施回数					政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	262
事務事業の施策への貢献度 ○高い ●普通 ○低い					評価	現状	実績値
						228	1,320
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
毎年テーマを決めて実施する。							

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
我孫子の自然や風土を生かすことや、新たに文化芸術に触れる機会を充実するためには、必要な事業である。	行政と市民が事業をともに実施するには、施策を実施するうえで、大きな効果が期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
文化祭や市民コンサート、子どもの舞台鑑賞事業を行うことは、市民の新たな文化芸術活動を創出させるきっかけになり、有効な施策である。	様々な文化芸術事業を市民とともに実施することは、節の目的を達成するために有効な施手段である。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
文化祭については、施設を長期間押さえてしまうことで、市民の利用を圧迫しており開催期間や運営方法について見直していく必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地域文化・郷土芸能の保存と継承	施策コード	53201	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域文化の保存と継承			関係課		
	(3) 節の目的	我孫子に伝わる生活文化を大切にし、次の世代に伝えます。また、季節の行事、祭りや郷土芸能を継承し育成します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存し、継承していくため、聞き取りや現地踏査などの調査・研究を行うとともに、活動のPRなど情報発信の充実、後継者育成のための支援に取り組みます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民、郷土芸能団体				
どういう状態に		郷土芸能団体の活動内容が市民に広く認識されているとともに、後継者の育成が進んでいる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	発表会における観覧者の動員						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 郷土芸能祭に出演している郷土芸能団体（クラブ）	生活文化や郷土芸能は将来に渡り継承していく必要があり、その担い手である団体を把握しつつ、団体を支援する必要があるため。					
	② 市が主催した生活文化・郷土芸能にふれるイベント	生活文化や郷土芸能は将来に渡り継承していく必要があり、行政として、PR・情報を発信する場として、イベントを開催する必要があるため。					
	③ 生活文化・郷土芸能にふれるイベントの入場者数	生活文化や郷土芸能を保存と継承するには、多くの方々に触れていただくことも大事であり、入場数を指標とすることで、PRや情報の発信度を図るため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	団体	7	7	7	7
		実績値		7	7	7	7
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値	件	3	3	3	3
		実績値		1	2	1	1
達成率		33.33		66.67	33.33	33.33	
③	目標値	人	400	420	440	460	
	実績値		340	364	347	247	
	達成率		85.00	86.67	78.86	53.70	
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	962	962	1,062	863	
		人件費	1,672	1,320	1,848	1,848	
		合 計	2,634	2,282	2,910	2,711	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	962	962	1,062	704	
		人件費	1,672	1,320	1,848	1,848	
合 計		2,634	2,282	2,910	2,552		

施策を構成する事務事業

事務事業名	郷土芸能活動の保護育成				課名	文化・スポーツ課		
指標	郷土芸能祭参加者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	105	目標値	100	単位	人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	105	達成率	105.00			予算額	863	1,848
事務事業の施策への貢献度	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い			評価	現状	実績値	704	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
市内小中学校の郷土芸能クラブを存続させ、次世代につなげていく。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
我孫子に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存・継承し、さらに後継者を育成するためには、必要な事業である。	郷土芸能祭に小中学生が出演することは、施策の目的達成に効果が期待できる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
郷土芸能祭を開催することにより、我孫子に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存・継承し、さらに後継者を育成することに繋がることになる。	郷土芸能祭を開催することにより、節の目的を達成するために必要な施策である。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	歴史的・文化的遺産の整備・活用	施策コード	53301	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	歴史的・文化的遺産の保存・活用			関係課	道路課	
	(3) 節の目的	文化財を保存し、市民に広く親しまれるように活用します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子市の歴史や文化、風土をより身近に感じ、ふれあってもらうため、指定文化財制度や登録文化財制度による文化財の保存をより強化します。また、手賀沼文化拠点整備計画に基づき、史跡などの文化財を計画的に整備してネットワーク化を進め、その活用と魅力の向上に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	史跡などの文化財				
		どういう状態に	文化財の保存・整備・活用が進んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会は見学者を増加する展示内容の検討が必要。 ・「旧井上家住宅の保存と活用」の活用計画をもとに、各建物の保存整備工事の実施設計を策定し、整備 工事が必要。 ・白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘を効果的運営する「我孫子の大正・昭和文化遗产」による見学者数の増加。 ・市史調査研究は資料所有者の理解と協力が必要。 ・文化財保存活用地域計画は令和2年度までに計画を策定し、それをもとに適切な事業推進をはか 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市の指定文化財の数	市の指定文化財の数は、保存状況を法的に確約されているものを最も端的に表すものであるため。					
	② 文化財施設等の年間見学者数	歴史的・文化的遺産の活用事業の効果を知るためには、施設等への見学者の数は直接的に効果を図ることができるため。（杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、白樺文学館、旧井上家住宅の合計）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	件	16	16	16	17
		実績値		15	15	16	17
		達成率		93.75	93.75	100.00	100.00
	②	目標値	人	16,500	17,000	17,500	18,000
		実績値		16,957	17,150	16,489	14,651
		達成率		102.77	100.88	94.22	81.39
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	71,820	37,473	83,659	43,484	
		人件費	16,456	14,608	44,088	36,080	
		合 計	88,276	52,081	127,747	79,564	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	71,820	37,473	83,659	40,850	
		人件費	16,456	14,608	44,088	36,080	
		合 計	88,276	52,081	127,747	76,930	

施策を構成する事務事業

事務事業名	散策路の整備(手賀沼文化拠点)				課名	道路課		
指標	後期計画調整の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	50	達成率	50.00			予算額	0	176
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	0	176

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

事業を道路の維持補修と結合する。

事務事業名	文化財の指定調査と保存支援				課名	文化・スポーツ課		
指標	指定件数(累計)平成31年度				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	16	目標値	17	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	17	達成率	100.00			予算額	3,345	1,848
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,324	1,848

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市指定文化財とすることで、貴重な文化財を保護することができるため、引き続き指定を行っていく。

事務事業名	杉村楚人冠邸の保存と活用				課名	文化・スポーツ課		
指標	年間入場者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3,194	目標値	4,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2,612	達成率	65.30			予算額	11,765	11,704
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,060	11,704

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市指定文化財でもある杉村楚人冠記念館について市民に広く周知する必要がある。

事務事業名	白樺文学館の運営				課名	文化・スポーツ課		
指標	年間入場者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	4,754	目標値	5,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4,703	達成率	94.06			予算額	13,872	11,704
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	12,907	11,704

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

白樺派や民藝について学べる貴重な施設であり、今後はリニューアル等についても検討していく。

事務事業名	文化財施設の管理・活用				課名	文化・スポーツ課		
指標	年間来場者数(旧村川別荘)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	4,615	目標値	4,800	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,523	達成率	73.40			予算額	6,074	2,376
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	5,636	2,376

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市指定文化財のよりよい活用方法、湖北郷土資料室の展示内容についてなど、引き続き模索していく。

事務事業名	旧井上家住宅の保存と活用				課名	文化・スポーツ課		
指標	期間:平成31年6月から平成32年9月				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	70	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	70	達成率	100.00			予算額	8,288	6,688
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,846	6,688

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市指定文化財である旧井上家住宅の保存は必要な事業である。

事務事業名	文化財保存活用地域計画の推進				課名	文化・スポーツ課		
指標	文化財保存活用計画の策定				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	80	達成率	100.00			予算額	140	264
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	77	264

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

計画を作成し、文化庁に認定されることが必要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
史跡、文化財と埋蔵文化財の保存と活用を行う上で、必要な施策である。	様々な制度や計画を通して歴史的・文化的遺産の保存整備・活用を図ることは節の目的に合致しており有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
節の目的を達成するために文化財の保存と活用を図ることは、効果的である。また、文化財保存活用地域計画の策定をすることは、今後、事業を推進するために必要がある。	文化財の保存と活用を図るために、様々な制度を活用することや計画を策定することは、節の目的を達成するために有効な施策である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究	施策コード	53302	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	歴史的・文化的遺産の保存・活用			関係課		
	(3) 節の目的	文化財を保存し、市民に広く親しまれるように活用します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	開発により滅失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	埋蔵文化財や歴史資料				
どういう状態に		調査・研究が進み、報告書や資料集が刊行されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	発掘調査については、事前の予測ができないため、柔軟な対応が必要。歴史資料調査は所有者との調整が必要。市に移管する資料は整理を進めて目録を作成する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市史や埋蔵文化財に関する刊行物の累計	市史や埋蔵文化財の調査結果を記録保存する具体的な手段である刊行冊数を計ることにより、保存の進捗状況がわかるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	冊	135	138	141	148
		実績値		132	139	144	149
		達成率		97.78	100.72	102.13	100.68
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	35,933	36,086	35,425	33,177	
		人件費	3,872	4,928	6,688	7,216	
		合 計	39,805	41,014	42,113	40,393	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	35,933	36,086	35,425	20,035	
		人件費	3,872	4,928	6,688	7,216	
合 計		39,805	41,014	42,113	27,251		

施策を構成する事務事業

事務事業名	不特定遺跡発掘調査				課名	文化・スポーツ課		
指標	発掘調査実施率（実施件数／発掘調査しなければならない件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	4,660	968
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,452	968

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民生活に直結する調査は速やかに行う。

事務事業名	民間開発発掘調査				課名	文化・スポーツ課		
指標	発掘調査実施率（実施件数／発掘調査しなければならない件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,778	1,144
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	△10,106	1,144

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の住宅を確保するために必要な事業である。

事務事業名	考古遺物整理				課名	文化・スポーツ課		
指標	刊行冊数（累計）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	61	目標値	63	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	63	達成率	100.00			予算額	16,230	880
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	15,679	880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き刊行していく。

事務事業名	市史調査研究				課名	文化・スポーツ課		
指標	市史関係図書の刊行数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	83	目標値	85	単位	冊	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	86	達成率	101.18			予算額	1,821	3,256
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,663	3,256

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き市史資料の刊行を行う。

事務事業名	公共事業発掘調査				課名	文化・スポーツ課		
指標	発掘調査実施件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	8,688	968
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,347	968

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共施設の建設等に係る発掘調査である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
開発によって失われる遺跡の発掘調査を実施し、発掘調査報告書として記録保存すること、市民によって伝えられてきた古文書などの資料を目録化して刊行することは、資料保存の目的に合致することから今後も推進していく。	遺跡の発掘調査や歴史的資料の調査研究は、失われつつある埋蔵文化財や散逸する資料を後世に継承し市民に情報提供することになり、節の目的に合致することから、有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
遺跡発掘調査を実施し、調査報告書を作成し記録保存すること、古文書資料の目録化は節の目的を達成するために有効な施策である。	発掘調査や市史調査研究や歴史資料の整理を行い報告書や資料集刊行は、市民に情報還元することとなり、節の目的を達成するために有効な施策である。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
歴史的資料の保存場所について検討する必要がある。	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充	施策コード	53303	施策主管部課	生涯学習部 文化・スポーツ課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	歴史的・文化的遺産の保存・活用			関係課	
	(3) 節の目的	文化財を保存し、市民に広く親しまれるように活用します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子市の歴史的・文化的遺産を広く知らせていくため、さまざまな施設や媒体を活用して公開する場や機会を確保するとともに、市民団体や関係機関、小中学校などと連携し、地域の歴史や文化について学ぶ機会を増やすなど、歴史や文化に親しめる環境づくりやしくみづくりを進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市内外の人々			
どういう状態に		我孫子の歴史や文化について知る機会が十分提供されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	あびこ電腦考古博物館は情報更新頻度を上げて、より多くのアクセスを得る工夫が必要。説明板・誘導板は設置場所の調整が必要。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	① 「文化財展」への入場者数		歴史的・文化的遺産の活用事業の効果を知るためには、展示会への見学者の数は直接的に効果を計ることができるため。				
	② 文化財関連ウェブサイトへの年間アクセス件数		各ウェブサイトの閲覧件数を計ることにより、市内の歴史的・文化的遺産への関心などが計れるため。（電腦考古博物館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、白樺文学館、各イベント等）				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	①	目標値	人	1,125	1,150	1,175	1,200
		実績値		875	667	784	1,467
		達成率		77.78	58.00	66.72	122.25
	②	目標値	件	3,000	3,050	3,100	3,150
		実績値		87,538	139,952	98,373	150,481
		達成率		2917.93	4588.59	3173.32	4777.17
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	824	665	1,162	602
		人件費	4,488	4,840	5,720	5,544
		合 計	5,312	5,505	6,882	6,146
	(10) 実績値 (千円)	事業費	824	665	1,162	598
		人件費	4,488	4,840	5,720	5,544
合 計		5,312	5,505	6,882	6,142	

施策を構成する事務事業

事務事業名	文化財説明板・誘導板の整備				課名	文化・スポーツ課		
指標	説明板・誘導板の設置数(累計)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	72	目標値	74	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	76	達成率	102.70			予算額	602	2,024
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	598	2,024

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き必要な整備・新設等を行っていく。

事務事業名	文化財展示会の実施				課名	文化・スポーツ課		
指標	文化財展示会来場者数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	954	目標値	1,100	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1,467	達成率	133.36			予算額	0	1,936
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,936

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

実際の文化財を市民に見てもらう貴重な機会である。

事務事業名	電腦考古博物館の運営				課名	文化・スポーツ課		
指標	電腦考古博物館アクセス件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	98,373	目標値	110,000	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	150,481	達成率	136.80			予算額	0	1,584
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,584

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

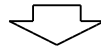
ホームページでの情報公開を行うことにより、電話での問い合わせの削減、正確な情報を市民にわかりやすく伝えることができる。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
ホームページ「あびこ電腦考古博物館」、市ホームページを通じて市内史跡や歴史に関する情報、イベントなどを積極的に公開することは、情報発信の拡充の目的に合致することから、推進していく。	様々な施設や媒体を通じて、我孫子の歴史的・文化的遺産を広く市民に知らせることや市民団体や関係機関、小中学校と連携し学ぶ機会を増やすことは、節の目的に合致し有効な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
文化財説明板・誘導板の整備や「あびこ電腦考古博物館」の整備、文化財展の開催は、市民への情報発信の拡充するという目的を達成するために有効な施策である。	イベントや媒体を通じて我孫子市の歴史的・文化的遺産を広く知らせること、市内小中学校と連携して地域の歴史を学ぶ機会を設けることは節の目的を達成するために有効な施策である。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	